奈良時代

名前

問1　奈良時代の都の跡から出土した木簡に、「伊豆国賀茂郡」という地名とともに、魚の加工品である「鰹（かつお）」を十斤納めたことが記されているものがあります。律令制において、このように地方の特産品を都へ直接納めることが義務付けられた租税を何といいますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 雑徭　2. 庸　3. 租　4. 調

問2　奈良時代の文化的な特色を示す事例として、正倉院に収蔵されている「瑠璃坏（るりのつき）」と呼ばれるガラス製の器があります。このような宝物が現代にまで残されていることは、当時の文化のどのような側面を象徴しているか、最も適切な説明を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面
2. 浄土信仰の広まりにより、平等院鳳凰堂に代表されるような極楽浄土を夢見る貴族的な側面
3. かな文字の成立に代表されるように、日本の風土や日本人の感情に合わせた国風の側面
4. 地方の豪族が独自に大陸と交易を行い、それぞれの地域で仏教文化を独自に発展させた側面

問3　律令国家が全国的な「戸籍」を作成し、6歳以上の男女に土地を分け与える「班田収授の法」を施行した最大の目的は何ですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった高度な農具を、身分に応じて平等に配布するため
2. 仏教を広めることで、疫病や社会不安を鎮めるための台帳とするため
3. 人々の氏名や年齢を把握し、租・庸・調などの税を確実に徴収するため
4. 十七条の憲法を普及させ、役人が守るべき道徳を全国に徹底するため

問4　奈良時代の都である平城京は、海から離れた内陸に位置していましたが、発掘調査で見つかった木簡などの記録から、各地の海産物などが大量に運び込まれていたことが分かっています。都にこのような各地の産物が集まった理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため
2. 収穫した稲の3%程度を、地方の役所に貯蔵する仕組みがあったため
3. 防人として九州へ派遣される兵士が、食料として持参したため
4. 地方の役所で働く代わりに、10日間の労働を都で行う義務があったため

問5　奈良時代に唐から鑑真が招かれた歴史的背景と、彼が「戒律」を伝えたことによる影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 土木事業や貧民救済を通じて、国家の許可なく民衆に直接布教を行うための新しい組織作りを推進した。
2. 唐で流行していた禅の教えを広めることで、文字を読めない武士層でも悟りを開けるような簡素な信仰を確立した。
3. 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。
4. 比叡山に延暦寺を建立することで、平安京の北東を守護し、天皇を中心とした新しい国家体制の精神的支えとした。

問6　奈良時代末期にまとめられた、現存する日本最古の歌集である「万葉集」の編纂に深く関わったとされる、当時の代表的な歌人は誰ですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 紀貫之　2. 大伴家持　3. 太安万侶　4. 藤原定家

問7　律令制のもとで、中央政府から地方の国々に派遣され、徴税や裁判などの行政を担った官職を何といいますか。地元の有力豪族が任命された郡司を指揮・監督した立場を指す名称として正しいものを、次のなかから選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 地頭　2. 県令　3. 守護　4. 国司

問8　律令国家が農民に「口分田」を与えた主な目的と仕組みの説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 静岡県公立入試 類似）

1. 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。
2. 貴族や寺社の勢力を強めるために、広大な土地の管理を農民に委託するため。
3. 農民の私有地を認め、さらに開墾した土地を永久に所有させるため。
4. 地方の豪族が所有していた土地を、農民が買い取れるようにするため。

問9　8世紀初頭に大宝律令が制定され、都が平城京に移された頃の日本において、国が農民の生活を把握し税を徴収する基礎とした、6歳以上の男女に土地を割り当てる制度を何といいますか。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

1. 班田収授の法　2. 墾田永年私財法　3. 太閤検地　4. 地租改正法

問10　8世紀の奈良時代、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺・国分尼寺を建てるなど、仏教の力で国を治めようとした時期に栄えた文化の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

1. 禅宗の影響を受け、茶の湯や水墨画などに見られる簡素で深い趣のある特色を持っている。
2. 武士の台頭を背景として、力強く素朴で現実的な特色を持っている。
3. 平安遷都後の貴族社会において、日本の風土や生活に合わせた日本独自の特色を持っている。
4. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。

問11　8世紀の日本において、律令国家の体制を整える一環として、唐の都である長安を模範に現在の奈良市に造営された都を何といいますか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 難波京　2. 平安京　3. 平城京　4. 藤原京

問12　明治政府が組織を整えていく過程で、行政の最高意思決定を行う「正院」、法案の審議を行う「左院」、各省の調整を行う「右院」の三院が設置されました。これらの三院を統括する位置にあり、古代の律令制に倣って名付けられた最高機関の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 枢密院　2. 太政官　3. 議定　4. 参議

問13　奈良時代、律令国家のもとで農民には重い負担が課せられていました。その中の一つに、唐や新羅などからの侵攻に備えて、主に東日本の農民が徴用され、現在の福岡県周辺などの九州北部の警護にあたった兵士を何と呼びますか。（2022年 京都府公立入試 類似）

1. 防人　2. 地頭　3. 武士　4. 守護

問14　奈良時代、唐から日本へ招かれ、日本の僧侶が守るべき生活規律である「戒律」を伝えた人物は誰ですか。彼は5回にわたる渡航の失敗や失明という苦難を乗り越えて来日し、日本の仏教制度の確立に大きく貢献しました。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 最澄　2. 鑑真　3. 行基　4. 空海

答え合わせ・解説

問1	答え 4 調	律令制のもとで、成人男性（正丁など）に課せられた租税のうち、絹や布、または各地の海産物といった特産品を都に納める負担を「調」と呼びます。出土した木簡に記された「鰹」のような記録は、当時の地方産品が都に集約される仕組みを裏付ける重要な史料です。稲を納める「租」が地方の倉庫に貯蔵されたのに対し、調は都まで運ばれ、役人の給与や政府の運営費用に充てられました。
問2	答え 1 遣唐使やシルクロードを通じて、遠く西アジアなどの文化までが流入した国際的な側面	正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が納められていますが、そこには唐の製品だけでなく、ペルシャ（イラン）など西アジアに由来する意匠や技法を用いた宝物が含まれています。これは、当時の日本が唐を中心とした国際交流ネットワークの中に組み込まれており、世界各地の文化が流入していたことを示しています。選択肢にある国風文化や浄土信仰に基づく建築などは、のちの平安時代の特色です。
問3	答え 3 人々の氏名や年齢を把握し、租・庸・調などの税を確実に徴収するため	唐の制度にならって整備された律令国家では、戸籍をもとに口分田を割り当てる一方で、人々に税や兵役の義務を課しました。稲を納める「租」のほか、都での労働や特産物を納める「庸・調」などは国家財政の重要な基盤であり、それらを正確に管理・徴収するために戸籍が不可欠でした。
問4	答え 1 地方の特産物を都へ納める「調」という税制が定められていたため	古代の税制である「調」は、各地の特産品を中央政府に納める制度でした。これによって、内陸部にある都にも全国から布や魚介類、塩などが集まり、国家の財源や役人への報酬、儀式の供え物として利用されました。選択肢にある「稲を納める（租）」や「労働の代わりに布を納める（庸）」、あるいは「防人」などの制度と区別して理解する必要があります。
問5	答え 3 税の免除を求めて勝手に僧侶になる者が増えていたため、正式な僧侶を認定する基準を設けて仏教の秩序を正した。	当時の日本では、僧侶になると租・庸・調などの税が免除されたため、自称する僧侶が増えて国家財政や秩序が乱れていました。鑑真が「戒律」を伝え、厳格な儀式（授戒）を受けた者だけを正式な僧侶と認める制度を確立したことで、国家による僧侶の統制が可能になりました。
問6	答え 2 大伴家持	奈良時代の天平文化を代表する『万葉集』は、大伴家持が最終的な編纂に大きく関わったと考えられています。選択肢にある紀貫之は平安時代初期の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者として知られており、混同しないよう注意が必要です。太安万侶は『古事記』を記録した人物です。
問7	答え 4 国司	律令制度において、中央政府の権威を地方に及ぼすために都から派遣されたのが国司です。彼らは一定の任期を持ち、地元の実力者である豪族から選ばれた「郡司」を指導・監督しながら、戸籍の作成や税の取り立て、裁判などを行いました。鎌倉時代の守護や地頭、明治時代の県令など、他の時代の地方官職と区別することが重要です。
問8	答え 1 戸籍に基づいて土地を分け与え、その収穫から一定の税を確実に徴収するため。	律令国家は、戸籍を作成することで人民の数と構成を把握し、それに基づき口分田を配分しました。これによって、農民に納税（租）の義務を負わせ、国家を運営するための財源を安定的に確保しようとしたのです。
問9	答え 1 班田収授の法	律令国家の基本的な土地・人民支配の仕組みとして確立されました。「公地公民」の原則に基づき、国がすべての人々と土地を直接支配することを目指したものです。6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の男女に「区分田」を与え、死後は国に返還させるというサイクルを繰り返しました。
問10	答え 4 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	聖武天皇の時代に平城京を中心に栄えた天平文化は、遣唐使が頻繁に派遣されたことで、当時の唐の高度な文化や仏教の影響を直接的に受けました。正倉院にはペルシャ（ササン朝）風の文様が施された宝物が収められているなど、西アジアの影響も含む国際色豊かな文化であったことが特徴です。一方、日本独自の特色が強まるのは後の国風文化の時代です。
問11	答え 3 平城京	710年に元明天皇によって遷都されたこの都は、唐の長安をモデルにした大規模な都市計画に基づいて造られました。東西と南北に走る道路によって碁盤の目のように区画されており、中央北端には天皇の住まいや官庁が集まる平城宮が置かれました。
問12	答え 2 太政官	明治初期の政府は、急激な近代化を進める一方で、天皇による統治の正当性を示すために「神武創業」を理想に掲げ、大宝律令などで定められた古代の名称を復活させました。正院・左院・右院からなる組織体制は、この太政官の下で機能し、強力な中央集権化を図る目的がありました。
問13	答え 1 防人	律令制において、主に東国（現在の関東地方など）の農民が徴兵され、3年間の任期で九州北部の沿岸警備にあたった兵士のことです。武器や食料、現地までの旅費は自己負担とされたため、農民にとって極めて過酷な軍役でした。万葉集には、故郷や家族との別れを悲しむ彼らの心情を詠んだ「防人歌」が収められています。
問14	答え 2 鑑真	聖武天皇の招きを受け、正しい仏教の規律を日本に定着させるために唐から来日しました。東大寺に戒壇（僧侶として認められるための儀式を行う場所）を設置するなど、それまで曖昧だった僧侶の資格制度を整える役割を果たしました。